

管理棟を含む本館工事は昭和 45 年 3 月に完了。引き続き特別教室棟の工事が始まり、新校舎に移った生徒が静かに勉強できるようになるのは翌年 3 月になる。旧校舎は所属替えとなり、県立鳥城高等学校の専用校舎となった。

平成 9 年 1 月、鳥城高校が伊島町へ新築移転、年度末には旧校舎は解体された。旧校舎脇にあった桜（昭和 27・28 年頃に植



平成 14 年

えられた) は勢いを増して全盛を誇り、他の木々とともに広い憩いの場となった。50 本以上のソメイヨシノが咲き誇る季節は圧

巻で、ご近所さんがシートを広げてお花見する姿も見られた。

平成 12 年 10 月の鳥取県西部地震により、窓ガラス 100 枚以上が割れたり、壁に亀裂が入るなどの大きな被害を受けたのを機に、校舎建て直しが検討されるようになった。

当初はまず階段校舎を解体し、その場所に新校舎を建設予定だったが、建設場所が鳥城高等学校跡地に変更され、新校舎完成後に階段校舎を解体することになった。

平成 16 年、新しい校舎建設のための整備が始まった。ソメイヨシノ 16 本、もみじ、サザンカ等は移植されたが、移植されなかったソメイヨシノ、クスノキ、ユウカリ、

メタセコイヤなどの木々はすべて伐採された。昭和 30 年に建てられ、後に補習科教室としても使用された合併教室（小講堂）も取り壊された。



平成 16 年春



平成 20 年 8 月階段校舎取壊し直前階段校舎への立ち入りはできなかったが、なぜか多くのクラスの黒板に様々な思いが書き込まれていた。

「親子二代の引っ越し」



昭和 44 年 6 月

後、三女は高 3 で階段校舎から新校舎へ引っ越ししました。卒業間近でセンター試験直前、もう引っ越しせずそのまま卒業したいと思ったのですがかないませんでした。滞在期間が短いので上靴は購入しなくてよいとのことで、スニーカーやモコモコスリッパ等、自由にさせてもらいました。

(昭和 47 年卒 入江ひとみ)

昭和 44 年 6 月、高 1 の私達は新しい階段校舎に引っ越ししました。重い机と椅子を 4 階まで運ぶのは大変でした。

それから 38 年



平成 19 年 1 月

【現校舎】平成 19 年(2007)1 月～

平成 16 年冬から教室棟を中心とする第 I 期工事が始まった。平成 17 年 9 月には特別教室棟、図書館、渡り廊下の第 II 期工事も始まった。

平成 18 年 8 月竣工。翌年 1 月、3 学期始業式の後、生徒は椅子と机を新しい校舎へ運び、新校舎での学校生活がスタート。階段校舎は、平成 19 年 11 月から翌年 12 月にかけて解体された。

現校舎は、独立した図書館を有し、各教室にはエアコンが取り付けられている。特に昔の同窓生が驚くのは、小・中学校と同じく昇降口があり、上履きに履き替えることかもしれない。

それからすでに 15 年。現校舎が竣工した年に生まれた子供達が今の高校 1 年生である。

(※使用した写真は朝日高校発行の写真集「写真で語る 140 年」から引用しました。)



平成 19 年 4 月
階段校舎と現校舎が同時に写っている



令和 4 年春